



翔鸞幼稚園のときめき・ひらめきミニエピソード

子ども達は、毎日目を輝かせ、心をときめかせながら、そして、時には大人をあっ！と驚かせるようなことをひらめきながら遊びを展開しています。このミニエピソードでは、子ども達がときめいたり、ひらめいたりしながら遊ぶことで育まれていく資質能力に着目して記述したいと思います。ぜひ、お読みください！

3歳児

「どんな音がするかな？」 R4. 12/6



砂場で遊んでいた時のことです。桶を持ってきて、「ここに立てる！」「先生、持っというて。」と、桶を立てることを始めました。桶の周りに砂を集め、シャベルやこてでベタベタと固めていきます。私が「もう離してもいい？」と聞くと、「まだ！」と子どもたち。しっかり桶が立つように、砂を固めました。桶が立つと、今度は「水入れよう！」と、じょうろに水を汲んできて、桶の中にどんどん入れていきます。桶の半分ぐらいまで水がたまると、「オッケー！このくらいいいい」とAちゃん。そして、Bくんが「これ入れたらどうなる？」と、土のかたまりを持ってきました。「やってみよう！」と、桶の中に入れてみると…ポチャン！と音が聞こえてきました。そして、CちゃんやDちゃんも「葉っぱはどうか？」「石はどうか？」と、次々に試していきます。

葉っぱを入れたときは「なーんにも聞こえない」、石を入れたときは「ポチャンって聞こえた！」などと、入れたものがどんな音かをみんなで確かめていました。様々な気付き、発見の喜びに通ずる姿を感じました。そのあとも、繰り返し色々な形の石や土のかたまりを入れて楽しんでいました。

桶を立てること、その中に水を入れること、さらに土のかたまりや石などを入れること、次々に「こうしてみよう！」と試したいことをひらめいて、3歳児なりに試行錯誤する姿がありました。友達と一緒に遊ぶこととときめき、その遊びの中で色々なことをひらめいていく子どもたちの姿からは、ときめきがひらめきを生むのだということを感じました。友達のしたいことを互いに認め合う姿もあり、相手の気持ちを受容する気持ちもぐんぐん育っているのだなと思いました。

4歳児

「虹の赤ちゃんがうまれた！」 R4.11/21



保育室にお日様の光が差し込んできました。すると…、床に小さな虹色の光の塊を発見！！「うわあ！虹の赤ちゃんがうまれた！！」と、子ども達はみんな大喜び。（だって、にじ組の子ども達ですから！！）指で触ったり、こすったりしていました。それでも虹の赤ちゃんは消えませんが、先生が、白い画用紙を虹の赤ちゃんの上にそっと置くと、またくっきり虹の赤ちゃんが映りました。Aちゃんは「そうや！」と言って、ペンを持ってきて「ここは赤、ここは黄色、ここは緑かな？」と言いながら虹の赤ちゃんの上をペンでなぞって遊ぶ姿が見られました。しばらくすると、虹の赤ちゃんは、スッと消えてしまいました。「また来てくれるかなあ～」と虹の赤ちゃんをかいた紙を壁に貼って見る姿が見られました。

偶然、飼育ケースの水に光が屈折して床に映った虹色の光に心をときめかせたAちゃん。いつもは空の上に浮かんでいる大きな虹が、小さい虹になって床に映ったため、本物の虹をペンでかいてみたくなったのだと感じました。Aちゃんに発見の喜びや色・形などの美しさや面白さに対する感覚が育っているからこそひらめいたのだと思います。その後もその虹をかいた紙を大切にしているAちゃん。きっと虹の赤ちゃんはAちゃんの気持ちの中では大切なものになっているのだと感じました。

5歳児

「“音” っておもしろい！」 R4.11/8



つくるまなぶ京都町屋科学館の方に来ていただき、今年も遊戯室が“わくわく科学館”に大変身。今年は“音”をテーマに、みんなで色々な音をつくって遊びました。馬が走る音、ポテトがジュージュ揚がる音などを色々な材料を使って表現したり、様々な音の鳴らし方を試したりしました。“馬が走る音”をつくることになった子どもたち。馬の足音をつくるために紙コップや木片など様々な材料を試します。すると、「私は馬が草むら走っている時の風の音をつくる！」とAちゃん。うちわを机にスリスリしながら、風の音を表現しました。1人で鳴らす音だけでなく、みんなでタイミングを合わせて色々な音を鳴らす楽しさや、鳴る音の面白さを感じる姿が見られました。

今までは意識することのなかった“音”について意識を向け、感じたり試したりする姿が見られました。様々な試しをしているうちに、生まれる音そのものや色々な音を生み出すことに対してときめきを感じ、イメージにあう音をつくるために試行錯誤したり、工夫を重ねたりしながらひらめく姿が見られました。表現する喜びや、音の美しさや面白さに対する感覚も育まれていると感じました。

令和4年度研究主題

子どもたちが夢中になって遊ぶ保育を創る

～科学する心を育む教師の援助や環境構成について考える～